

## 第13回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について(中学生部門)

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
優秀賞	グループ	福井県立高志中学校 前田 拓海 反保 遼 吉田 幸路	3	ふくい理数グランプリ 〈中学生部門〉 最優秀賞  ふくい理数グランプリにおいて昨年度に続き、2年連続最優秀賞を受賞した。プログラミングコンテストや情報オリンピックなど、全国レベルの大会にも積極的に参加し、科学分野情報分野への意欲が高く評価された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくい理数グランプリ(中学生部門) 最優秀賞(R3)</li> <li>・日本情報オリンピック(前田) 敢闘賞(R3)</li> <li>・ふくい缶サットグランプリ(前田・他3名) 審査員特別賞(R3)</li> <li>・U-22プログラミング・コンテスト(前田・反保) 一次予選通過(R3)</li> <li>・ふくい理数グランプリ(中学生部門) 最優秀賞(R2)</li> <li>・科学の甲子園ジュニアエキシビジョン大会(前田・反保・吉田・他3名) 情報部門 11位/548チーム(R2)</li> <li>・PCNこどもプロコン2019-2020(前田・反保・他2名) ソフトウェア部門 PCN特別賞(R1)</li> <li>・ふくい理数グランプリ(中学生部門) 科学の甲子園ジュニア福井県代表選手選考会に出場(R1)</li> </ul>
優秀賞	個人	坂井市立丸岡南中学校  清水 彩帆	1	カラスと私のソーシャルディスタンスを測るⅡ  小学4年生からカラスについて研究を続け、カラスに近づける距離の変化は紫外線の反射の有無ではなく、背景の色と服の色のコントラストの影響が大きいという結論を導き出した。今回の実験も300回以上カラスを追いかけ、カメラの技術を駆使し、記録し続けたことも評価された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県小・中学生科学アカデミー賞 最優秀賞(R3)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R3)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」坂井地区審査 最優秀賞(R3)</li> <li>・南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞 奨励賞(R2)</li> <li>・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R2)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R2)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」坂井地区審査 最優秀賞(R2)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」坂井地区審査 優秀賞(R1)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(H30)</li> <li>・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優良賞(H30)</li> <li>・福井県小・中学校「私たちの理科研究」坂井地区審査 最優秀賞(H30)</li> </ul>
奨励賞	個人	越前市万葉中学校  金吉 実紹	1	「新聞紙vsぼく」Part3 つる植物から繊維を探す  紙の強度に関係する4つの条件を満たす、つる植物に着目し、紙を作成するという独創性のある研究が評価された。植物から繊維を効果的に取り出す方法についても、条件を変えながら実験を行っている。植物によって取り出された繊維の形状なども丁寧に分析が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生科学賞 福井県審査 県教育委員会賞(R3)</li> </ul>
奨励賞	個人	福井市森田中学校  北出 翔和	1	アンモナイトのラペット  アンモナイト化石の研究を行い、特に特異的な形状である「ラペット」(貝の殻口部の突起)に着目したユニークな研究が評価された。長さや比率を測定と成長との関係性を推測し、採取した試料に「新種の可能性」や当時の環境を考察した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生科学賞 福井県審査 読売新聞社賞(R3)</li> <li>・福井県小・中学校理科作品コンクール 福井市長賞(R2)</li> <li>・福井県小・中学校理科作品コンクール 福井市長賞(R1)</li> </ul>